

令和3年度学校自己評価システムシート (県立常盤高等学校) s 36

目指す学校像	豊かな人間性、確かな知識・技術を兼ね備えた看護のスペシャリストの養成
--------	------------------------------------

重点目標	1 主体的な学びを促進する魅力ある授業を追求し、授業改善を推進することで、学力の一層の向上を図る。 2 教職員一丸で社会の変化に対応できる教育活動を実践することで、心身ともにたくましく規律ある生徒を育成する。 3 看護職への自覚を高めるとともに、看護師としての職業観・倫理観を育成するキャリア教育を推進する。 4 地域・保護者・関係機関との連携強化と効果的な情報発信により、愛され信頼される学校づくりを推進する。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	現状 ○授業や実習の大切さを第一に考える中で、コロナ禍によって従来の画一的な教育活動から変容の意識がある。 課題 ○コロナ禍によって試行的に進んだオンライン学習との融合を目指し、より効果的な学習方法を模索することが必要である。 ○制限のある病院実習の代替となる効果的・効率的な校内実習体制の構築が必要である。	○育てたい看護師像に向けた学力定着と看護技術向上を図る。	①授業及び実習計画の精選を行い、ICTの活用と応用及び校内実習プログラムの構築をする。 ②ICT機器の活用等や教員研修(対面・オンライン等)により授業力の向上を行う。 ③授業評価のために授業アンケートを行う。 ④実力テストの実施により、学習到達度を把握する。	①各教科・科目の授業で、シラバスや目標に近づく授業実践ができたか。 ②③授業に対する興味関心及び理解度は向上したか。(授業アンケート) ④生徒の学習到達度は向上したか。(実力テスト)		
2	現状 ○多くの生徒は基本的な生活習慣が確立されており、真面目で落ち着いた学校生活を送っている。 ○生徒指導部や各学年を中心に生徒へのきめ細やかな指導ができています。 課題 ○組織的な指導体制を確立し、日常の生徒の様子を観察し、心のケアに取り組む必要がある。 ○一過的な指導ではなく継続的な生徒指導を行う必要がある。	○将来の看護師として、社会性のある心と態度を育てる。	①生徒指導部及び学年団を中心とした適切かつ積極的な声掛けにより生徒理解をさらに深め、指導体制を確立する。 ②生徒支援委員会をはじめ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど外部機関との連携により、個に応じた支援を行う。 ③学校行事や部活動及び校外活動における生徒の自主性を重んじ、積極性や協調性を育てる。	①組織的・日常的に生活指導を実施し、生徒の行動が変容したか。 ②計画的・継続的な指導により、生徒の生活状況や学校生活の満足度は向上したか。 ③コロナ禍で制限のある中、効果的な各種行事や部活動の実施ができたか。		
3	現状 ○就職試験日程の早期化に伴い、個に応じた指導を行っている。 ○昨年度の看護師国家試験は全員合格であり、合格率は高い水準を保っている。 課題 ○看護師国家試験の高い合格率を達成するために、計画的・継続的な指導を実践することが必要である。 ○高校生からの段階的な進路指導体制を整理し、早い段階から自発的・能動的な進路意識を育成することが必要である。	○なりたい看護師像の追求及び看護師国家試験合格を目指す。	①進路の手引きの見直しを図り、進路ガイダンスを実施することで、低学年から進路情報を提供する。 ②キャリアプロジェクトにてポートフォリオを活用し、将来の「ありたい像」を育てる。 ③コロナ禍の制限がある中でより効果的な病院説明会や進路講話、修了生懇談会等を行い、生徒の進路希望実現を支援する。 ④看護専攻科及び進路指導部と学年が連携し、看護師国家試験対策及び進路指導等を行う。	①効果的な進路行事を提供することができたか。 ②キャリアポートフォリオを作成することができたか。 ③生徒の進路希望を実現できたか。 ④高い看護師国家試験合格率を達成できたか。 ⑤進学希望者の進学が実現できたか。		
4	現状 ○連携病院や大学並びに保護者の協力により、専門性の高い教育活動が円滑に推進されている。 ○県内各地から、看護師を目指す生徒が集まってきている。 課題 ○昨年度のノウハウ(ホームページ・一斉メール・高大連携等)をさらに活用し、保護者・地域・関係機関との連携を強め行事等への参画意識を高める必要がある。 ○医療機関及び大学、地域や保護者と連携し、よりよい情報交換を行うことで課題を発見し、教育活動を改善することが必要である。	○情報機器等の活用について環境や体制を整備し、保護者・地域・関係機関との連携強化を促進させる。	①外部向けイベント(学校説明会、産業教育フェア等)への積極的参加により、本校の魅力を発信する。 ②客観的評価や課題解決のため保護者アンケートを行う。 ③学校ホームページ(常盤ブログ等)更新や一斉メールの活用により、保護者への情報発信頻度を高める。	①学校説明会・体験入学の参加者を増やさせ、志願者数は増加したか。 ②本校の現状と課題を把握し、改善策を考察することができたか。(保護者アンケート) ③ホームページのアクセス数は増加したか。		

学校関係者評価
実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等